

問 会費収入に対して、交通事故の件数が少なかったことなどにより、見舞金の総額が少なかったことが要因である。今後は、制度全体の見直しが必要と考えていることから、今後、検討していきたい。

令和7年度行田市一般会計予算

○スマート農業推進事業

問 スマート農業機器などの導入実績や活用方法について。

答 これまでの実績では、自動操舵システム、農業用ドローン、あるいは集積化に係る畦畔の撤去などに活用されている。



○電機機器設置工事請負費

問 指定避難所である泉小学校への非常用発電装置の整備に関し、発電機の使用可能な範囲、また、他の施設への設置計画はあるのか。

答 電力容量からすると、校舎2階フロアの使用を想定している。他施設への設置については、設置後の効果検証をした後に、各施設でのように使用できるか、また、国の補助金等も含め、設置の可能性について、調査研究していく。

○橋りょう点検委託料

問 点検方法について。

答 市が管理する橋長2m以上の690橋を5年に分けて点検するもので、近接目視による点検、打音や触診のほか、必要に応じて非破壊検査等により実施している。

健康福祉常任委員会

○行田市敬老祝金条例の一部を改正する条例

問 今回条例を改正する理由は。

答 同じ学年であっても年齢到達日によって受け取る年度が異なっている現行の仕組みについて、敬老事業検討打ち合わせ会議等から見直しの要望があったことから、同学年の者が同時期に受け取れるように改正しようとするものである。

問 既に祝金を支給した方が誕生日前に亡くなってしまった場合には、返還等の対応はするのか。

答 長寿を祝福するということを目的に、9月15日現在で住民票がある方に支給することから、返還等は考えていない。

問 保護者等からの苦情受付窓口を設置とあるが、市が窓口となるのか。

答 基本的な苦情対応は事業者となるが、内容次第では市も適切に対応させていただく。

問 こども誰でも通園制度のこれまでの利用者割合は。

答 1月末時点のLINEの登録者数は229名となっており、利用者割合は登録者の72%となっている。

令和7年度行田市一般会計

○子ども等多世代の居場所づくり支援事業

問 子ども食堂等をどこでやっているか周知不足であると感じるが、その点はどのように考えているのか。

答 現在は、子ども食堂等の統括団体である行田こども居場所ネットワークが作成しているホームページや各小学校へのチラシ配布等で周知を行っているが、今後は市においても周知について協力を検討していきたい。

○通いの場乗合型Aーオンデマンド交通利用補助金

問 半額補助とのことだが、帰りの補助だけなのか。行きはどのように行くのか。

答 本市の通いの場合は、やすらぎの里、永寿荘及び南河原荘の3施設であるが、利用者には自身で通いの場まで来ていただき、帰り分の全額チケットをお渡しすることで、往復の半額補助とするものである。

○消防車両更新事業

問 消防ポンプ自動車2台を更新予定とのことだが、古い車両はどうする予定か。

答 政府から発展途上国の国々に対して協力要請があることから、本市においては、日本外交協会や日本消防協会といった団体を通して、海外への寄贈を考えている。



新型消防車両イメージ